

顔認証サーバーソフトウェア WV-ASF950 シリーズ

V4.xx から V4.11 へのアップデート手順

概要

バージョンアップは、以下 2 つのツールを用いて実施します。

- ・Config ツール : WV-ASF950 ConfigurationTool (デスクトップのショートカット)
- ・アップデートツール : UpdateTool_for_ASF950_V4_xx_to_V4_11

※各ツールは USB メモリ等から直接実行せず、デスクトップ等のローカルディスク上にコピーしてから実行してください。

※ASF950 のバージョンは、C:¥ASF900¥version ファイルをメモ帳などで開いて確認してください。

以下の手順を実施します。

項番	手順	内容	使用するツール
1	システムの停止	システムを停止し、サーバーの種別（マスターかスレーブか）の確認をします。	Config ツール
2	システムのアップデート	更新ファイルのコピー・システム設定の更新を行います。	アップデートツール
3	システムの起動	バージョンが更新されていることを確認し、システムを起動します。	Config ツール
4	カメラ情報の更新	マスク顔検出するカメラの情報を更新します。	Config ツール

また、サーバーの稼働状況を逐次確認するために顔認証サーバーエラー通知ツールを任意の PC にインストールしてください。

※バージョン 2.00 未満の場合、インストールから実施してください。バージョン 2.10 以降の場合、既存の顔認証サーバーエラー通知ツールのアンインストールから実施する必要がありますが、設定していた IP 情報はアンインストール後も残るため、最新版をインストール後に再度サーバーの登録をする必要はありません。

以下の手順を実施します。

項番	手順	内容	実施バージョン
1	アンインストール	前バージョンの顔認証サーバーエラー通知ツールをアンインストールします。	2.10 以降
2	インストール	任意の PC 上で顔認証サーバーエラー通知ツールのインストールを実行します。	全て
3	サーバーの登録	顔認証サーバーエラー通知ツールにサーバーを登録します。	2.00 未満

V4.xx では、さまざまな環境での検証結果から顔登録におけるアラーム感度の推奨値を

マスク無し : 1.04 マスクあり : 1.12

としています。

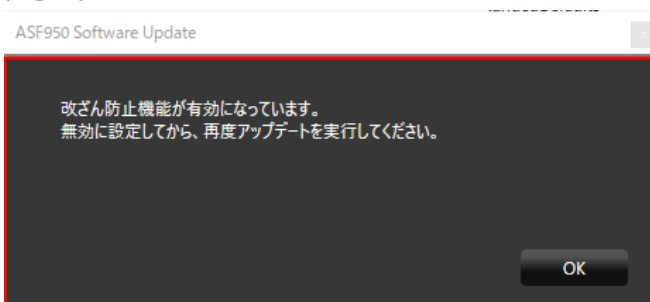
ご使用の環境や登録されている顔画像によって、その感度は変わってきますので、推奨値をベースに現場でアラーム感度を調整してください。

「PostgreSQL is not runningg」、「MDDb backup error」、「Configuration file is not found」のメッセージが表示される場合は、販売店へお問い合わせください。



改ざん防止機能が有効になっているメッセージが表示される場合は、改ざん防止機能を無効にしてから、再度アップデートを実行してください。

無効の状態でもこのメッセージが表示される場合は、一度有効にしてから再度無効にし、アップデートを実行してください。



1

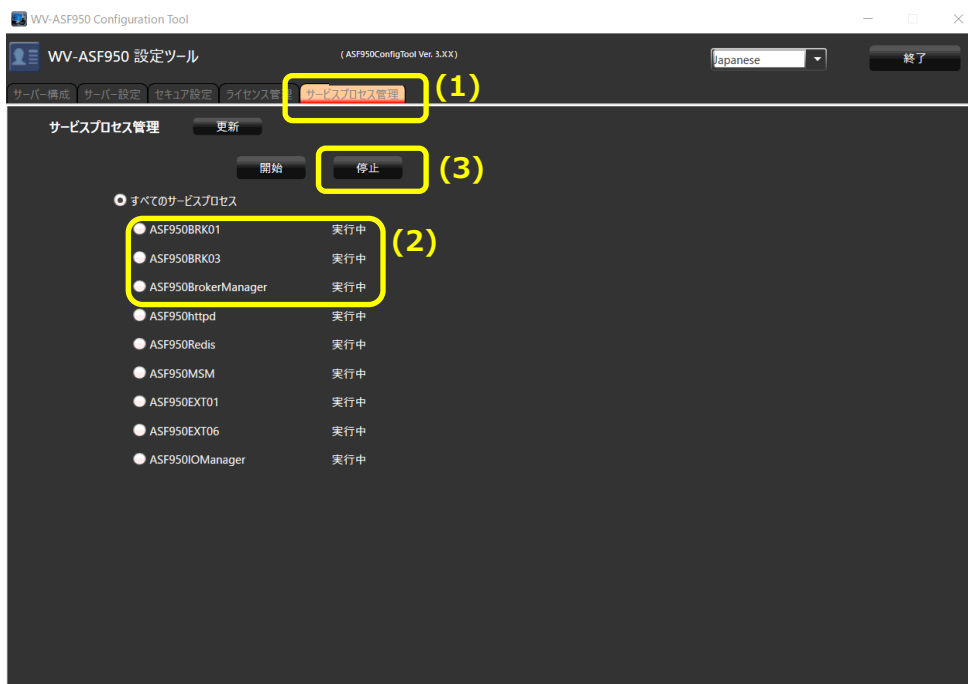
2

3

4

1. システムの停止

- (1) Config ツールを起動し、「サービスプロセス管理」タブをクリックします。
- (2) 以降の手順を進めるために サーバーが「マスター」か「スレーブ」かの判断を行います。
図の(2)の枠内の表示が「未インストール」となっている場合は「スレーブ」です。
それ以外の場合は、「マスター」です。
(以下の画面はマスターの例です)
- (3) 「すべてのサービスプロセス」がチェックされていることを確認し、「停止」ボタンをクリックします。



- (4) すべてのプロセスが「停止」となっていることを確認し、「終了」ボタンをクリックして、Config ツールを閉じます。

2. システムのアップデート

更新ファイルのコピー・システム設定の更新を、アップデートツールで行います。

- (1) 「UpdateTool_for_ASF950_V4_xx_to_V4_11¥WV-ASF950」フォルダ 内の
「ASF950UpdateTool.exe」を実行します。

※デスクトップ等のローカルディスク上にコピーしてから実行してください

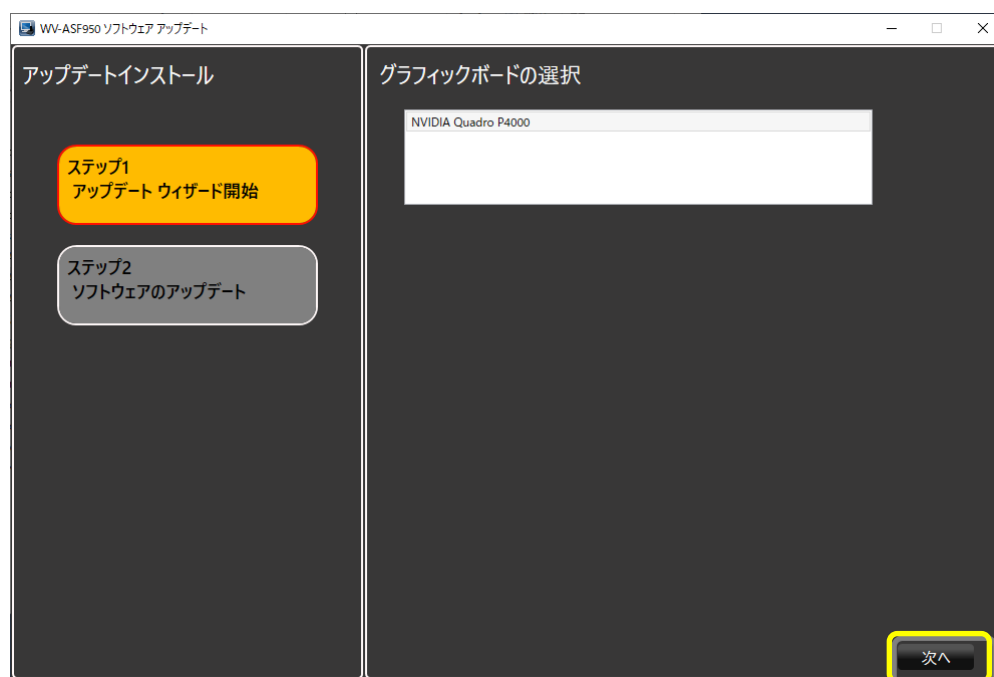
※.NET Framework 4.7.2 以降がインストールされていないときには、自動でインストールされます。

- (2) 「グラフィックボードの選択」で、サーバーで使われている GPU がリストで表示されます。
グラフィックボードのドライバーのバージョンが 471.68 未満の場合、注意文が表示され[キャンセル]ボタンが表示されます。



ドライバーを更新後、再度アップデートツールを起動してください。

(3) グラフィックドライバーのバージョンが 471.68 以上の場合、「次へ」ボタンが表示されるので押してください。



(4) 自動判定されたサーバーの種別(マスターサーバーまたはスレーブサーバー)が選択されているので、「1.システムの停止 (2)」で確認したものと合っているか確認し、間違っている場合は正しいサーバーを選択してください。

(5) 「次へ」ボタンをクリックします。

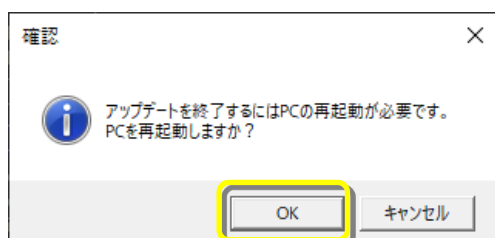


(6) 新しいソフトウェアのインストールと設定が始まります。

「Update Completed」が表示されインストールの終了を確認したら、「終了」ボタンを押してアップデートを終了します。



(7) 再起動の確認ダイアログが表示されますので、OK ボタンを押して、PC を再起動してください。



1

2

3

4

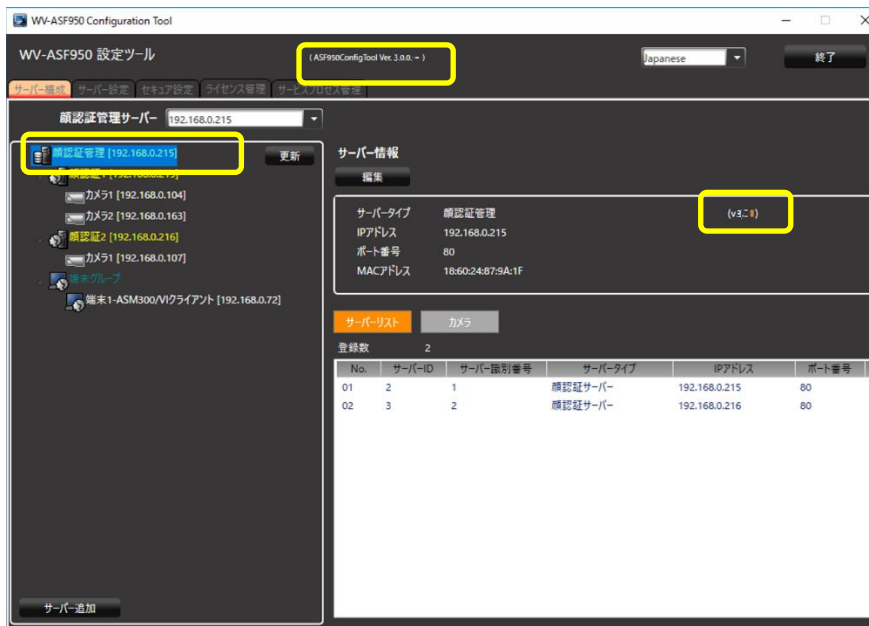
3. システムの起動

(1) Config ツールを起動します

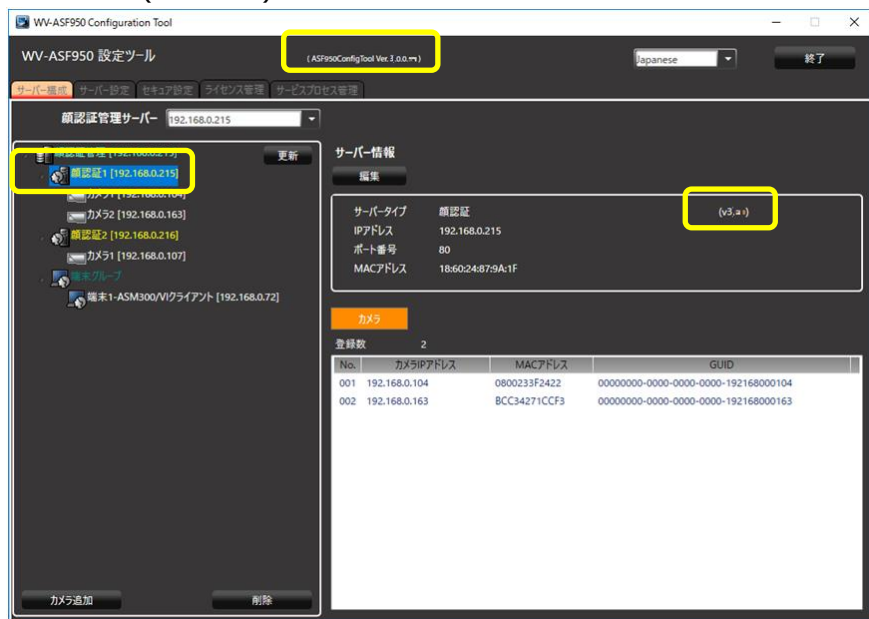
(2) Config ツールのバージョンが「V4.11」になっていることを確認します。
サーバーのバージョンが「V4.11」になっていることを確認します

【マスターサーバーの場合】

顔認証管理サーバーのバージョンを確認します。

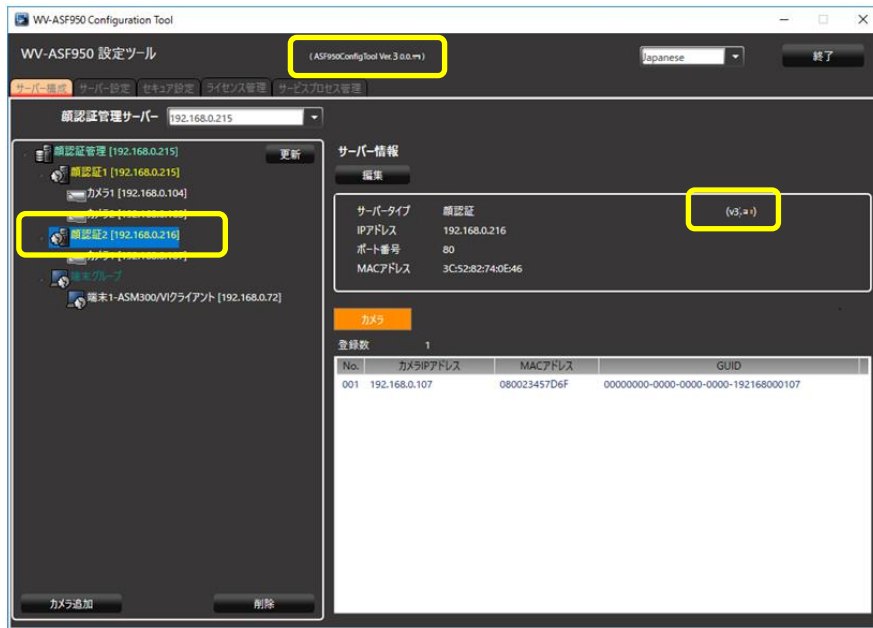


顔認証サーバー(顔認証 1)のバージョンを確認します。



【スレーブサーバーの場合】

顔認証サーバー(顔認証 2 以降)のバージョンを確認します。



(3) PC を再起動します。

(4) PC 再起動後、Config ツールの「サービスプロセス管理」タブをクリックします。
すべてのプロセスが「実行中」となっていることを確認し、「Exit」ボタンをクリックします。

1

2

3

4

4. カメラ情報の更新

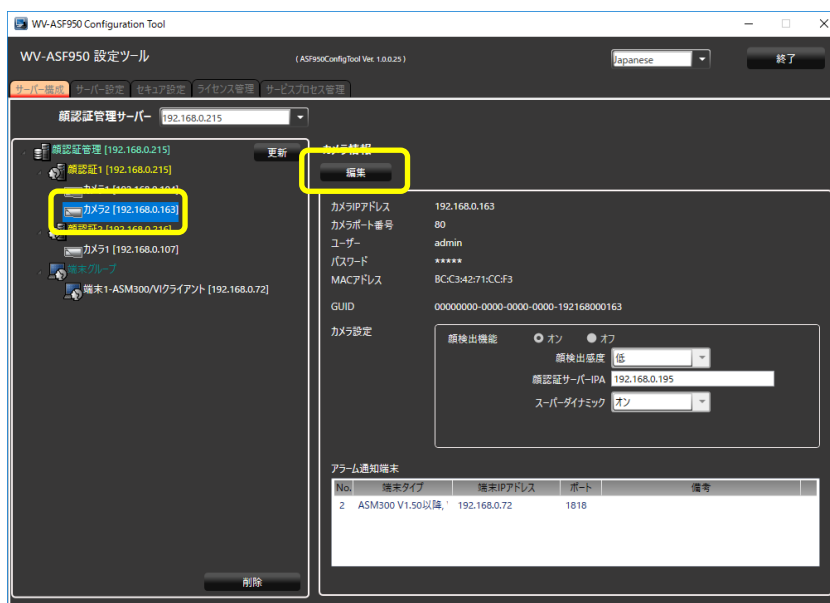
カメラのマスク顔検出機能を使うときは、対象のカメラ（i-PRO EXTREME シリーズのサポート機種のみ）のファームウェアを V2.00 以降へバージョンアップした後、サーバーのカメラ情報を更新する必要があります。

(1) マスターサーバー上で、Config ツールを起動します

(2) 「サーバー構成」タブを選択します。

情報更新するカメラを選択し、「編集」ボタンをクリックします。

カメラ設定画面が表示されます。



(3) 「接続」ボタンをクリックします。

「接続完了」と表示され、Config ツールがカメラの情報を取得しなおします。



マウス顔検出の設定メニューが表示されるので、検出レベルをプルダウンメニューから選択します。

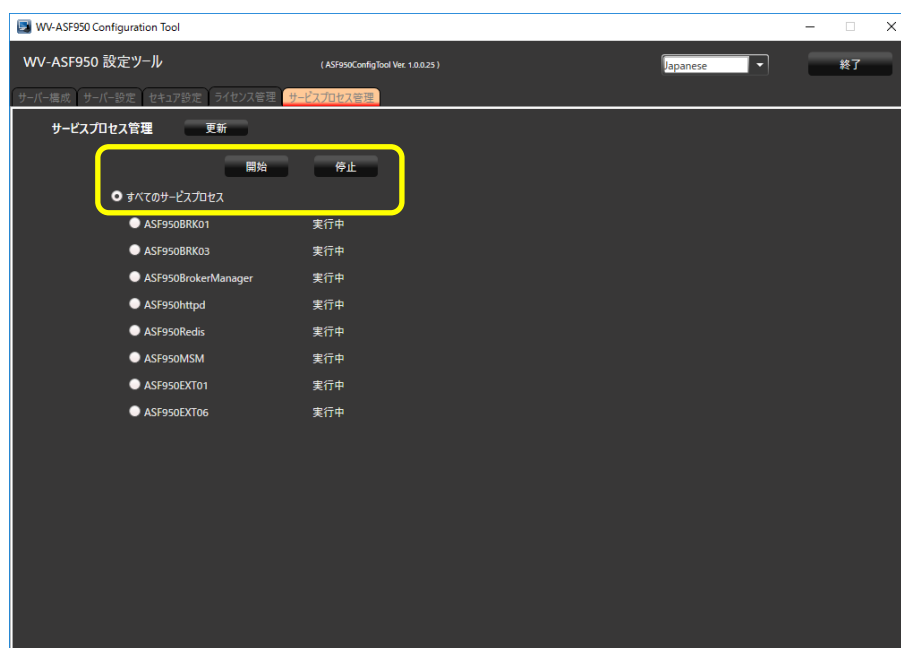
※「高」が推奨レベルです。

設定後、「更新して閉じる」ボタンをクリックします。



(4) 他のカメラについても、(2)-(3)の手順を繰り返します。

(5) 設定を反映させるため、「サービスプロセス管理」タブで、すべてのサービスプロセスを停止し、再度開始します。



(6) **他の PC のスレーブサーバー**がある場合、同じように、「サービスプロセス管理」タブで、すべてのサービスプロセスを停止し、再度開始します。

顔認証サーバーエラー通知ツールのバージョンアップ

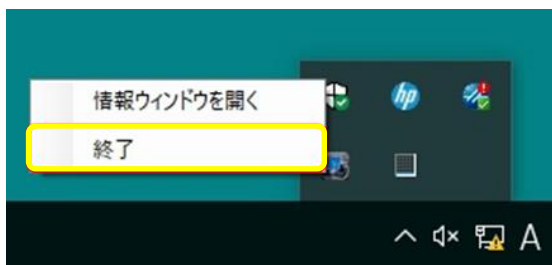
顔認証サーバーエラー通知ツールのバージョンアップを、ツールがインストールされているクライアント PC で行います



1. アンインストール

前バージョンの顔認証サーバーエラー通知ツールがある場合のみ実施してください(バージョン 2.10 以降)。

- (1) デスクトップの右下に表示されるアイコンを右クリックして「終了」をクリックし、終了確認メッセージで「はい」をクリックしてツールを終了してください。



- (2) [コントロールパネル]-[プログラムのアンインストール]または[プログラムと機能]を選択します。
- (3) [プログラムのアンインストールまたは変更]画面に表示されているプログラムから、「WV-ASF950 エラー通知ツール」を選択し、「アンインストール」ボタンをクリックします。
- (4) 画面の指示に従ってアンインストールします。

※アンインストール後に PC の再起動は必要ありません。

1

2

3

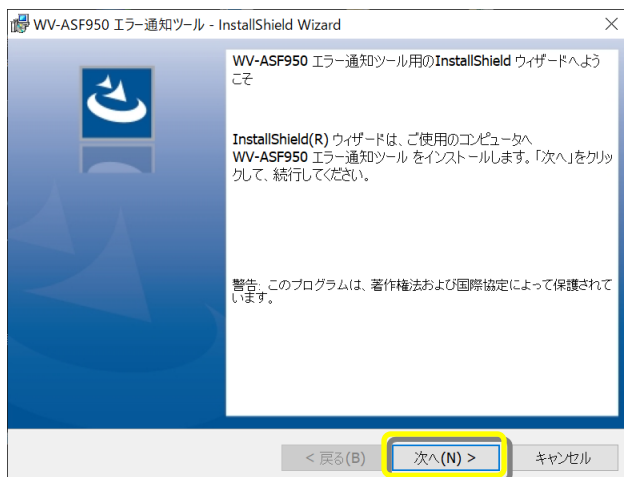
2. インストール

(1) 「UpdateTool_for_ASF950_V4_xx_to_V4_11¥Error Notification Tool」フォルダ を任意の PC 上にコピーします。

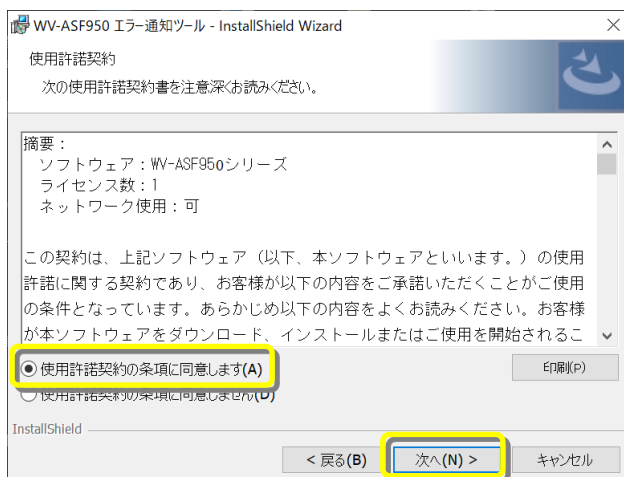
(2) コピーした PC 上で「Error Notification Tool」フォルダ内の「WV-ASF950_Error_Notification_Tool_Setup_vxxxxxJ.exe」を実行します。

※ ****にはバージョン情報が入ります。

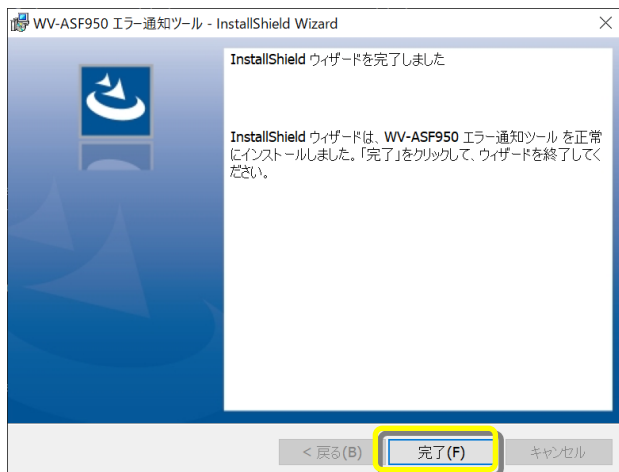
(3) 「次へ(N)」ボタンを押します。



(4) 「使用許諾契約の条項に同意します(A)」を選択し、「次へ(N)」ボタンを押します。



(5) 顔認証サーバーエラー通知ツールのインストールが始まります。インストールが終了したら「完了(F)」ボタンを押して終了します。



3. サーバーの登録

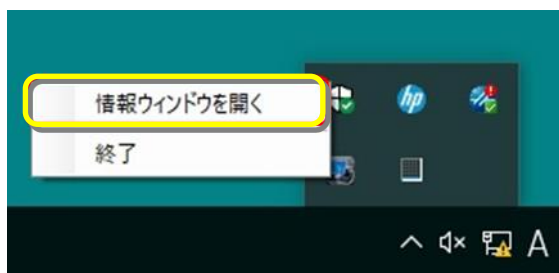
新規インストール時(バージョン 2.00 未満)もしくはシステム構成を変更する場合に実施してください。

※バージョン 2.10 以降の場合、設定していた IP 情報はアンインストール後も残るため、最新版をインストール後に再度サーバーの登録をする必要はありません

- (1) デスクトップ上にある「WV-ASF950 エラー通知ツール」をダブルクリックして顔認証サーバーエラー通知ツールを起動します。

※自動起動はしないため、インストール後はショートカットから必ずツールを実行してください。

- (2) タスクトレイに表示されるアイコンを右クリックして「情報ウィンドウを開く」をクリックします。
顔認証サーバー情報ウィンドウが表示されます。



- (3) 「追加」ボタンをクリックします。
WV-ASF950 サーバー登録画面が表示されます。



- (4) IP アドレスを入力します。
サーバーの SSL を On にしている場合、「SSL」にチェックをします。
サーバー種別は「マスター」にチェックがついていることを確認します。
設定後、「追加」ボタンをクリックします。

WV-ASF950サーバー登録

IPアドレス 192.168.0.209

ポート番号 80 ☐ SSL

サーバー種別 ☒ マスター

追加

顔認証サーバー情報に登録したマスターサーバーが追加され「状態[OK]」が表示されることを確認します。

WV-ASF950 顔認証サーバー情報

マスター [192.168.0.209]	状態[OK]
----------------------	--------

追加 編集 削除 閉じる

「状態[OK]」にならない場合は、IP アドレスが正しいか、ネットワーク機器に、顔認証サーバーのサービスプロセスが起動しているかを確認してください。

- (5) 他のマスターサーバーやスレーブサーバーがある場合、(3)-(4)の手順でサーバーを追加します。スレーブサーバーを追加する場合、マスターサーバーを選択した状態で「追加」ボタンをクリックします。